

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課

担当課長名：高松 泰

事業名 一般道道 北進平取線 <small>ほくしんびらとり</small>	事業区分 地方道	事業主体 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道勇払郡厚真町字上幌内 <small>ゆうふつ あつま かみほるない</small> 至：北海道勇払郡穂別町字穂別 <small>ゆうふつ ほべつ ほべつ</small>		延長 10.7km
事業概要 北進平取線は、早来町から平取町に至る21kmの一般道道である。このうち、厚真町字上幌内から穂別町字穂別までの延長約11kmが開発道路に指定されている。当該事業により、通行不能区間を解消し、農産品の流通支援、観光アクセスの向上等に寄与する。		
S56年度事業化 - 年度都市計画決定 S56年度用地着手 S57年度工事着手		
全体事業費 約85億円 事業進捗率 67% 供用済延長 4.8km		
計画交通量 1,130台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 5.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 24/86億円 (事業費：20/79億円) (維持管理費：4/7億円)
総便益 (残事業)/(事業全体) 129/129億円 (走行時間短縮便益：119/119億円) (走行費用減少便益：9/9億円) (交通事故減少便益：0/0億円)		基準年 平成15年
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.7(交通量+10%) B/C=1.3(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.4(事業費+10%) B/C=1.6(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.2(事業期間+20%) B/C=1.7(事業期間-20%)		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる）		
関係する地方公共団体等の意見 苫小牧市をはじめとする1市6町の首長及び議会議長で構成される北海道苫小牧地方総合開発期成会より事業促進の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成3年国道274号右勝樹海ロード開通。平成10年日高自動車道苫小牧東IC～厚真IC間供用。 平成11年北海道横断自動車道夕張IC開通。平成15年日高自動車道厚真IC～鶴川IC間供用。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに4.8kmを道へ引継ぎしている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る区間については、引続き調査、用地買収及び工事を促進し、平成20年頃の全線引き継ぎを目指す。		
施設の構造や工法の変更等 建設副産物の利用として再生骨材の活用、補強土壁工の採用によるコスト縮減を図っている。今後は、現地発生材を法面植栽に有効利用し、既存種の早期緑化の検討等を行う。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。